

会 議 録	
会 議 名	令和元年度 第2回 丸亀市未来を築く地域戦略会議
開催日時	令和元年 12月 20日 (金) 14:00~15:45
開催場所	丸亀市役所 別館5階第1会議室
出席者	<p>出席委員 岩本 直、高井 宏幸、中田 陽子、菅 弘、佐藤 国夫、西川 真智子、藤井 満美、高木 明美、奥田 徹、塩田 覚、宮川 孝洋、塚本 詩乃</p> <p>欠席委員 漆原 光徳、久富 啓至、高木 和代、明石 安哲、真鍋 有紀子</p> <p>事務局 市長公室長 横田 拓也 (秘書政策課) 課長 窪田 徹也、副課長 谷本智子、担当長 野本 政宏、主査 宇野 大志郎</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人口ビジョン (改定案) について 2. 第2期未来を築く総合戦略 (案) について 3. その他
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	<p>ただ今より、第2回目の丸亀市未来を築く地域戦略会議を開会いたします。議事に入ります前に、本日の会議資料を確認します。</p> <p>以後の議事につきましては、会長に議長をお願いします。</p>
岩本会長	<p>議事に入ります前に、現在12名の委員のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定に基づき会議が有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。議事の1「人口ビジョン (改定案)」について事務局より説明をお願いします。</p>
秘書政策課 宇野	<資料に基づき説明>
塩田委員	外国人人口の将来の見通しや影響について検討はしていますか。
秘書政策課 宇野	基本的には外国人の労働人口がポイントになるかと思いますが、不透明な部分が多いのが現状で、市内業者にもヒアリングしましたが、センシティブな問題であり、分析しづらい面があります。外国人の人口の状況については、増加傾向にあることをまずは確認し、それを踏まえた対応に取り組んでいくこととなります。
宮川委員	自然増への転換を目指すとありますが、自然増になるために合計特殊出生率ほど

	<p>れだけの数値が必要ですか。</p>
秘書政策課 宇野	<p>市の独自推計で設定した 2030 年に 1.8、2040 年に 2.07 に到達する仮定でも、自然増減についてはマイナス 1,000 人からマイナス 2,000 人程度を推移します。</p>
窪田課長	<p>市の独自推計は、自然増に回復するまでの目標とはなっておりません。合計特殊出生率を少しずつ高くする目標を設定することで人口減少を抑制しようとするものです。</p>
宮川委員	<p>合計特殊出生率が 2040 年に 2.07 に達成する根拠はありますか。目標であれば、自然増に転換する高い目標にしてはどうですか。</p>
秘書政策課 宇野	<p>香川県の人口ビジョンに準じて、あくまで目標として設定したものです。自然増に転換するには、かなり高い数値が必要かと思います。</p>
藤井委員	<p>自然増に転換するために、合計特殊出生率がいくら必要かというシミュレーションはしていますか。</p>
窪田課長	<p>現時点の推計では行っていません。</p>
塩田委員	<p>市民アンケートの結果に理想の子どもの数がありますが、実際の状況はわかりますか。</p>
秘書政策課 宇野	<p>1 人が 13.1%、2 人が 25.1%、3 人が 10%となっており、前回アンケートと同じような傾向となっています。</p>
岩本会長	<p>それでは、他にご意見もないようですので、次に議事の 2「第 2 期未来を築く総合戦略（案）」について事務局より説明をお願いします。</p>
秘書政策課 宇野	<p><資料に基づき説明></p>
塩田委員	<p>定住自立圏の中讃 2 市 3 町の取組の中で、宇多津町と連携することはできますか。宇多津町は隣接していますし、この中に入っても良いと思います。</p>
窪田課長	<p>広域での連携の取組は、定住自立圏構想の枠組みである善通寺市、多度津町、琴平町、まんのう町と進めており、その取組をこの戦略のなかで位置づけているものです。宇多津町と連携できることがあれば、それぞれの取組のなかで別に検討していくこととなります。</p>

高井委員	基本目標2「社会増を目指す」の成果目標を社会増減数から転入者数に変更するとのことですが、社会増を目指すのであれば、転入者が増えても転出者が同様に増えれば社会増に繋がらないと思います。
秘書政策課 宇野	まず、人口減少対策に特化した計画であることを強調するために、基本目標4「安心を高める」の成果目標を転出者数に設定したいという考えがあり、その関係で転入者数についても合わせて見えるようにし、成果を管理しようとするものです。
中田委員	不登校児童生徒数の割合は、一定の成果が出たため、指標を変更するとのことですが、ゼロを目指すべきだと思います。
窪田課長	第1期の期間中における着実な取組により不登校児童生徒の割合を確実に減らしてきており、引き続き取り組んでまいります。次の目標として現在在籍している子どもたちが学校を楽しんでいる割合を新たに設定するものです。
菅委員	丸亀市が目指す人口について、将来展望と目標の意味合いがわかりにくく、市の努力目標が加味された推計かどうかがあいまいです。
秘書政策課 宇野	市の独自推計による将来展望は、市の目標と同じ意味で記載しています。
窪田課長	人口ビジョンと総合戦略の組み立てとしては、国が示した推計まで人口が減少しないように、総合戦略に基づく各施策に取り組み、市の目標人口を目指していくとご理解いただければと思います。
西川委員	高齢者の移動支援のモデル地区は、具体的にどこになりますか。今後、増やしていく方向でしょうか。
秘書政策課 宇野	川西、岡田、飯山南地区で本年から実施しており、実施地区を増やす目標を設定しています。
藤井委員	市の独自推計に基づく2024年までの出生数は、年間913人の目標となり、1日当たり3人という計算になりますが、市内にそれだけ受け入れられる産婦人科施設は十分ありますか。
秘書政策課 宇野	市内のほか近隣市町にもあり、過去の出生状況からすると、現在の体制が維持される仮定であれば問題ないと思います。
藤井委員	それから、生産年齢人口が減っていくなかで、大人の引きこもりが増えていることも問題となっていますが、何か対策は考えていますか。

秘書政策課 宇野	引きこもりの対策については、国において自治体への補助事業などが検討されていますが、現時点では不透明というのが現状です。今回の計画には掲載していませんが、今後の動きによっては市としても対応していかなければならない課題と捉えています。
藤井委員	キッズウィークについては、例えばサービス業など、休めない事業所への対応が必要です。また、一緒に家にいるだけではないので、遊びに行く場所は営業していないといけないという問題もあり、休めない職業が将来職業として目指されないというようなことにならないような配慮も必要と思います。
秘書政策課 宇野	そうした課題がキッズウィーク推進協議会でも議論されており、休めない保護者の子どもたちが安心して過ごせる場所を提供するほか、市の家族向けのイベントを集約して実施することも検討しています。
藤井委員	働き方改革が進められ、有休消化などの制度もできていますが、休みができて現実にダブルワークをしたり、経済的に豊かな生活を求める方もいます。それぞれの人の価値観にもよると思いますが、経済的なことだけが一番価値があるのではないという社会になって欲しいと思います。
塚本委員	キッズウィークは、保護者が休めずに留守番をする子どもが多いのが現状だと思います。ただ、働き方改革の視点では良い取組で、目標値50%も素晴らしいと思いますが、その裏側には50%休めていない人もいますので、そうした方たちも安心できる取組もセットであるとなお良いと思いました。
宮川委員	チャコリウィークのイベントは私も参画していますが、姉妹都市のサンセバスティアン市では毎年映画祭を開催しており、関連する取組など検討して欲しいと思います。
秘書政策課 宇野	担当課にお伝えしたいと思います。
塩田委員	大学生の就職の面接を何度か行った経験がありますが、最近の大学生は地元志向が強くなってきていると感じており、努力を続ければ丸亀市にも若者が多く戻ってくるように思います。
奥田委員	市の全部署が総力を挙げて取り組むべき課題であることが分かる計画だと思います。人口減少の問題は国も地方も決め手がないだけに、網羅的に様々な取組を進める視点も必要です。市役所だけでどうこうできる問題ではなく、コミュニティなど外郭団体の協力を仰がなければ、この計画も進みません。

	<p>核家族化が進むなか、各コミュニティでは、子どもが生まれた親子を対象に、地域の子育て経験者があらゆる相談に乗るという取組を進めています。市の担当課もコミュニティや連合自治会などと協力して、人口問題の解決に取り組んでほしいと思います。</p>
高木委員	<p>具体的な取組について、担当部署との擦り合わせや、予算への反映などはどのようなかたちで行われていますか。</p>
秘書政策課 宇野	<p>個々の施策はそれぞれ担当部署と協議して決定しています。予算については、予算編成方針のなかで総合戦略も踏まえた予算編成を行うよう財政部局から伝えていきます。</p>
佐藤副会長	<p>今後も高齢化率が高くなるという推計が出ているなか、高齢者が住みやすいまちづくりも大切です。少子化の問題もありますが、高齢になっても買い物や通院などの面で安心して暮らせる社会を目指すことが大切です。</p> <p>また、小中学校における児童・生徒用のコンピュータの整備については、一人一台という時代が来ており、トイレの洋式化の問題なども含め、子どもを育てやすい環境についても合わせて取り組んで欲しいと思います。</p>
岩本会長	<p>他にご意見もないようですので、最後に議事の3「その他」について事務局より説明をお願いします。</p>
秘書政策課 宇野	<p><今後の日程等について説明></p>
岩本会長	<p>それでは、以上で本日の会議を終了します。</p>

(会議終了)